

## 開会挨拶

林 信康（京都高大連携研究協議会 運営委員長／京都女子中学校・高等学校 校長）



皆さま、おはようございます。ただいまご紹介にあずかりました、京都高大連携研究協議会運営委員会委員長、京都女子中学校・高等学校の林でございます。第21回高大連携教育フォーラムの開催にあたり、主催者を代表しまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は全国から高等学校、大学の教職員、教育関係者など多くの方々にご参加いただきましたことを、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。本フォーラムは、毎年、高等学校・大学間の接続教育における国内動向の情報共有、そして京都における取り組みの情報発信、および事例研究を目的に開催しております。今年度のフォーラムでは、現在、新学習指導要領に基づいた授業が展開されている状況を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現、高校生そして大学生が良い問いをデザインする力を育むことを目指し、「どうすれば良い問いをデザインできるかー高校の探究と大学の研究の共通点を探るー」をテーマに開催いたします。

新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類に引き下げられ、今回4年ぶりに対面での開催とし、高大接続改革について、高等学校・大学関係者双方の皆さまが同じ場で共有し、考える機会として意義深いものとなれば幸甚に存じます。

最後になりましたが、ご多用中にも関わらず、本フォーラムへご参加いただきました皆さま、また登壇をご快諾いただきました先生方に深謝申しあげますと共に、皆さまのますますのご健勝と今後のご活躍を願いたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。